

薫

誕生

白い靄が野を覆い
光りに縁どられたおまえが
北西の空で熱を帯びる
柔らかな息吹が
草の間を吹き抜けてふく
おまえはかつて
わたしのからだに宿っていた
もつと昔そのまた昔には
祖たちのからだにも宿っていた
受け継がれてきたいのちの光源
誰のものでもなく
誰のものでもあるおまえ
豊饒な熱帯の湿り気を帯び
劫初の香気に包まれて
おまえはやってくる